第34回 やまがた 農村フォトコンテスト

［募集テーマ］
やまがたの農村をテーマに、あなたが伝えたい山形の農村の四季、風景、働く喜びなど、幅広く農村生活をとらえたもの
（田園の風景、農作業の風景、伝統文化（祭り）、疏水、地域保全活動等）

ふるさとを探そう

あなたが伝えたい山形の水・土・里

MIDORI-NET YAMAGATA
一般の部
NOSON PHOTO CONTEST

水土里ネットやまがた会長賞

「天職」佐藤　靖（山形市）
■撮影場所／山形市

山形新聞社賞

「小正月のお灸」
工藤　省三郎（鶴岡市）
■撮影場所／酒田市

優秀賞

「大地に春を呼ぶ」島貫　一郎（飯豊町）
■撮影場所／飯豊町

「風のない朝」長谷部　基雅（米沢市）
■撮影場所／米沢市

特　選

「僕達も戦力だ」鈴木　貞治（天童市）
■撮影場所／山形市

「伝承の演奏」鈴木　咲良（上山市）
■撮影場所／米沢市

「収穫の祝陽」飯沢　守（山形市）
■撮影場所／朝日町

入　選

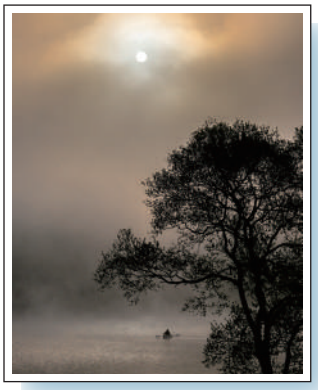
「五穀豊穣祈願」
佐々木　吉治（酒田市）
■撮影場所／庄内町

「風雪に耐えて」植松　晃（山形市）
■撮影場所／村山市

「里人との出会い」
佐竹　吉廣（寒河江市）
■撮影場所／南陽市

「トンボを捕る少年」吉田　功（山辺町）
■撮影場所／山辺町

「元気で散歩」
齋藤　彰（新庄市）
■撮影場所／新庄市



「けあらしの朝」
齋藤　徹（飯豊町）
■撮影場所／飯豊町

「ジュンサイ摘み」貝羽　太（山形市）
■撮影場所／村山市

「だいこん、ゲット!!!」
東海林　陽子（長井市）
■撮影場所／長井市

「棚田の夜明け」本田　浩行（東根市）
■撮影場所／朝日町

「達磨寺田植踊り」
阿部　紀秋（山形市）
■撮影場所／中山町

学生の部

最優秀賞

「笑顔も収穫!」
鈴木　こはく（東根市立大富中学校2年生）
■撮影場所／大石田町

優秀賞

「カカカの神様」
木村　怜央
（創学館高等学校3年生）
■撮影場所／上山市

「たくさんのせて出発」
石﨑　大賀
（庄内町立立川小学校4年生）
■撮影場所／庄内町

特選

「我が桃を愛でる」
井上　みゆ
（東海大学山形高等学校1年生）
■撮影場所／東根市

「でっけぇスイカ、採れたぞ!」
太田　晄生（東根市立大富中学校2年生）
■撮影場所／大石田町

「九十歳の収穫」
平田　陸翔（天童市立第四中学校2年生）
■撮影場所／東根市

入選

「ちょっと休むべ」
多田　羽海
（山形県立山形北高等学校1年生）
■撮影場所／山形市

「田んぼと夕日と新幹線」
庄司　葵
（山形市立第八小学校5年生）
■撮影場所／山形市

「空から緑の田んぼを守る大きなドローン」
阿部　澪（庄内町立立川小学校3年生）
■撮影場所／庄内町

WEB作品の部

最優秀賞

「泥んこ上等」佐藤　志穂（天童市）
■撮影場所／西川町

入選

「咲き誇る笑顔」
佐藤　宏樹（鶴岡市）
■撮影場所／鶴岡市

「余裕だよ」
齋藤　新一（鶴岡市）
■撮影場所／庄内町

審査講評

山形県写真連盟　会長
阿部　直美

平成5(1993)年の第1回目から数えて今回で34回目となった「やまがた農村フォトコンテスト」ですが、これまでに多くの県内写真愛好家から農村の四季や風景、働く姿など農村の生活をテーマにそれぞれの視点で捉えた農村の良さや農業の大切さを表現した写真を応募していただきました。

今回は、一般の部では58人から155点、学生の部には小・中・高校生34人から47点、WEB作品の部には42人から74点の応募がありました。総数で134人、276点という応募があり、本コンテストが広く県民に周知されていると実感したところです。

応募作品は、農村や農作業の風景等を捉えた素晴らしい写真がほとんどで、審査には大変苦労しました。入賞された皆さんには心からお祝い申し上げます。

私たちの周りには、農業に関わる文化や民俗行事、ふるさとの原風景が数多く残されています。それらを後世に伝えるためにも、皆さんの豊かな感性で被写体に接し、感動する写真を撮り続けていただくことを期待します。

[一般の部]

最優秀賞

「盛夏」
渡辺　喜則(山形市)　■撮影場所／中山町

ヒマワリ畑の中で虫取りを楽しむ少女の姿をとらえた作品ですが、咲き誇るヒマワリの画面中央に少女を配置し、夕暮れ時の柔らかい光に包まれた場面を上手く表現しています。画面全体がセピアっぽい色彩で一種のノスタリジックな雰囲気を醸し出しています。彩度を柔らかく表現した色調が、夏の終わりを画面から感じさせ、画面奥にはうっすらと山並みを映し込んだ構図的にも遠近感を感じさせる作品で、撮影者のセンスあふれる秀作だと思います。

水土里ネットやまがた会長賞

「天職」
佐藤　靖(山形市)　■撮影場所／山形市

山形の冬の風物詩であるセリの収穫に従事する男性の屈託のない笑顔が素敵な作品です。寒風の中での作業は体にもきついものがあると思いますが、そんなことを吹き飛ばすかのような笑顔と冬の柔らかい日差しがこの作業へのご褒美のようなものを上げたのではと感じました。撮影者とこの男性との間にコミュニケーションが取れているからこそ撮れた作品ではないかと思います。

山形新聞社賞

「小正月のお灸」
工藤　省三郎(鶴岡市)　■撮影場所／酒田市

酒田市の旧阿部家で行われた小正月行事の体験会での一シーンでしょうか。廿日灸という乾燥させたヨモギの葉のお灸を皿に載せ、体を撫でて無病息災を願う伝統行事ですが、母親の膝に抱かれた男の子の表情が何とも言えないです。お母さんは神妙にしているのですが、子どもは意味が分からずに何をしているの？と言わんばかりの母子の表情のギャップに一瞬を切り取る写真の面白さを感じさせる作品です。

[学生の部]

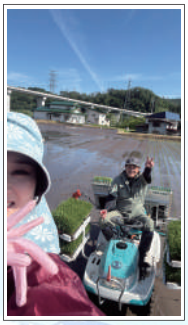
最優秀賞

「笑顔も収穫!」
鈴木　こはく(東根市立大富中学校2年生)　■撮影場所／大石田町

なんといってもこのおばあちゃんの笑顔に脱帽です。撮影者のおばあちゃんでしょうか。でなかったらこのような笑顔をカメラの前では表せないと思います。夏野菜の収穫を終えたおばあちゃんを撮影した作品で、“笑顔も収穫”の通りの、素敵な笑顔です。写真のテーマとして人物を選んだ場合、撮影対象者とコミュニケーションがとれていることが大切です。お互いに心を許しあえる関係が素晴らしい作品を生み出します。そういう意味ではお互いの信頼感に溢れた作品です。

[WEB作品の部]

最優秀賞



「泥んこ上等」
佐藤　志穂(天童市)　■撮影場所／西川町

WEB部門ならではの作品です。スマートフォンを使い自撮りした作品ですが、被写体は本人とご主人、晴れた休日に実家に田植えの手伝いにでも来たのでしょうか。農作業も楽しげですし、記念にと自撮りをする二人の表情にも素敵な明るさを感じさせてくれます。また、飛行機雲の軌跡も背景の青空を強調し、画面全体の明るい雰囲気を表すことにもとても効果的だと思います。

入賞作品の展示は11月6日に山形テルサで行う土地改良大会にて行います。

■主催：水土里ネットやまがた(山形県土地改良事業団体連合会)
■協賛：(株)メコム／富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)山形営業所／山交観光(株)／(有)たかしま保険サービス／(株)ユアシス
■後援：山形県／山形県多面的機能支払推進協議会／山形県写真連盟／山形新聞・山形放送

お問い合わせ
水土里ネットやまがた(山形県土地改良事業団体連合会)
第34回 やまがた農村フォトコンテスト事務局　〒990-2473　山形市松栄1-7-48　TEL 023-647-5371　FAX 023-647-5391

入賞作品を紹介しています
www.sanae.or.jp
SANAE PHOTO GALLERY 写真館 '26